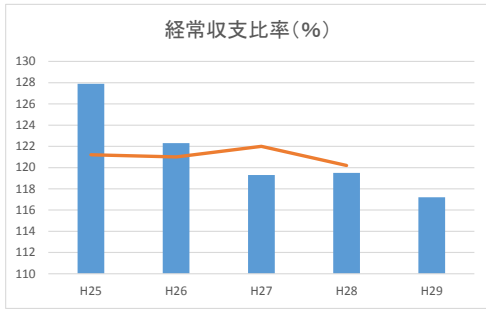


経営比較分析表（工業用水道事業）

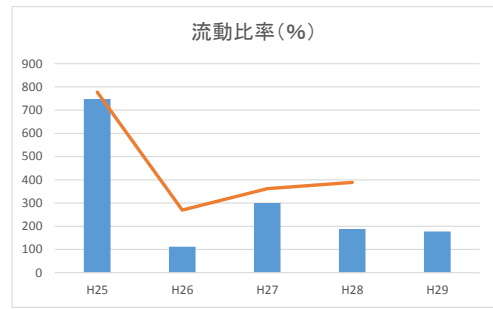
1 経営の健全性・効率性



	H25	H26	H27	H28	H29
山口県	127.9	122.3	119.3	119.5	117.2
全国平均	121.2	121	122	120.2	

経常損益

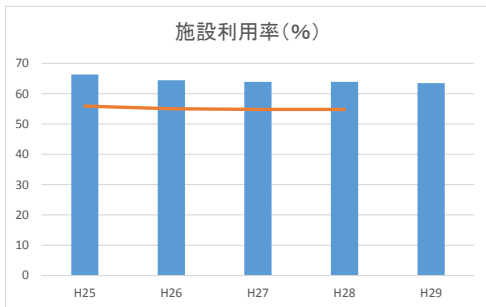
経常収支比率が100%を超えている。給水収益で維持管理費等を賄っており、健全性を維持



	H25	H26	H27	H28	H29
山口県	747.8	111.6	300.5	188.1	177.4
全国平均	777.6	269.7	362.1	388.9	

支払能力

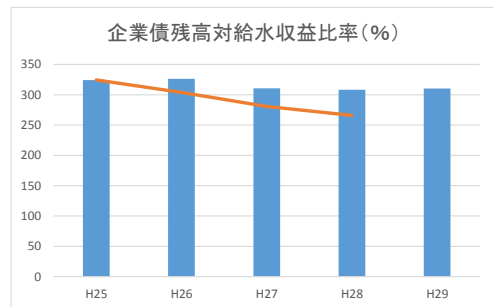
100%を上回っており、支払能力に問題ない。



	H25	H26	H27	H28	H29
山口県	66.3	64.4	63.9	63.9	63.5
全国平均	55.9	55	54.8	54.8	

施設の効率性

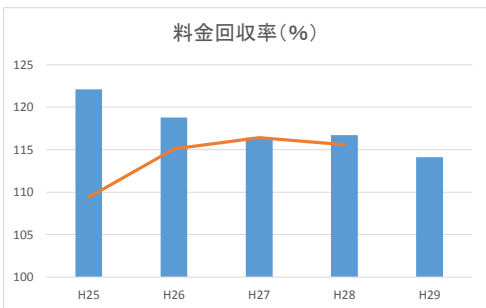
全国平均を上回っており、施設の利用状況は良好



	H25	H26	H27	H28	H29
山口県	324.2	326.2	310.6	308.2	310.3
全国平均	324.4	303.7	280.6	265.9	

債務残高

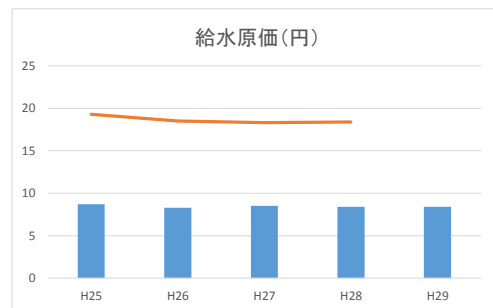
全国とおおよそ同水準で減減しており、適正水準



	H25	H26	H27	H28	H29
山口県	122.1	118.8	116.4	116.7	114.1
全国平均	109.4	115.1	116.4	115.6	

料金水準の適切性

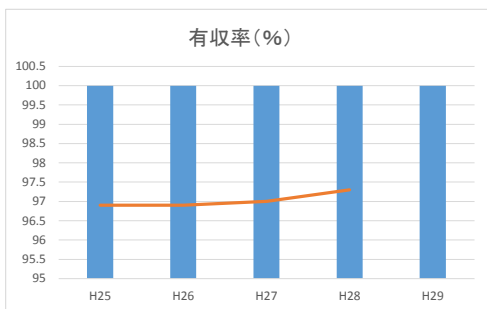
100%を超えており、給水費用を給水収益で賄っている。



	H25	H26	H27	H28	H29
山口県	8.7	8.3	8.5	8.4	8.4
全国平均	19.3	18.5	18.3	18.4	

費用の効率性

給水原価は全国平均の半分程度となっている。

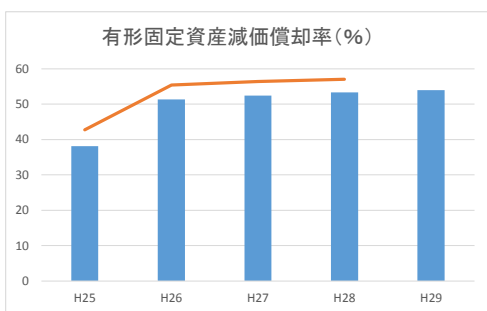


	H25	H26	H27	H28	H29
山口県	100	100	100	100	100
全国平均	96.9	96.9	97	97.3	97.3

配水量の効率性

100%となっており、施設の稼働が全て収益に反映

2 老朽化の状況



	H25	H26	H27	H28	H29
山口県	38.1	51.3	52.4	53.3	54
全国平均	42.7	55.4	56.4	57	57

施設全体の減価償却の状況

全国平均と同程度の割合で徐々に施設の老朽化が進行

3 総括

- 経営の健全性・効率性を表す指標は全国平均と同程度か良好で、現在の経営状況は健全といえる。
- 今後は、現在策定中の「次期（第4次）経営計画」に基づき、工業用水の安定供給及び純利益の確保を図っていく。
- 企業債については、新規企業債の発行額を償還額の範囲内に抑制することで、残高の縮減を図っていく。
- 県内の未受水企業等への情報発信などにより、需要開拓に取り組み、収入の確保を目指す。
- 施設の老朽化が進行しており、施設の健全性を確保しつつ、長期的な収支見通しを踏まえて「工業用水道事業施設整備10か年計画」に基づいて計画的・重点的な老朽化対策を推進していく。

※総務省の水道事業の経営比較分析表に準じ、本県独自に作成。

※全国平均は総務省の「地方公営企業年鑑」及び「工業用水道経営指標」による。平成29年度は公表されていないため未記入。